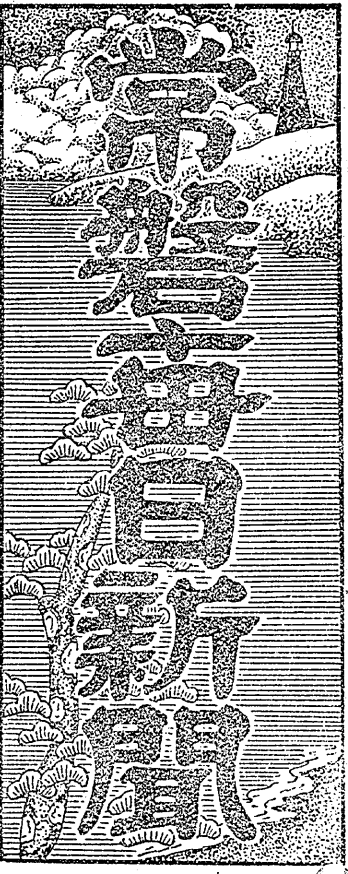


【刊夕】日三月九



常新新聞

刊五稅郵 錢十五月一 錢貳金部一價

(刊休日祭曜日) 銀(5) 日語字(2) 額(5) 料告廣

治文崎川 人庫印入 輯編業有發

五三町橋長町平郡城石縣島福

番〇三六話電 社開新日每常 所行發

社會式株印日每常 所印

### 一日一功主義 (二)

眞 繼 雲 山

これなら何時どこでドウいふ風が吹くにせよ、根こそぎ元子ぐるみ臺なしになるやうなことはならぬ。私が毎日、斯やうに拙ない筆を進めて、皆様と見参してゐるといふのも、矢はり一日一功主義の小さな表現に外ならぬ。實際人間が「この土に成らうとまよふ落葉かな」の心境に達し得るなら、それがそのまま即得往生である。

長壽自在  
辛さを失つた鹽は、既に鹽でないやうに人間としての已れの使命を自覺し、その使命に奉仕し精進することを知るぬ人間は、單なる生ける屍である。一輪の花にも一滴の露にもその咲き亂れ、輝き散るところに、それ／＼宇宙の一役としての生甲斐がある生さることが尊いのではないとして生甲斐あることが尊いのである。百歳の長壽もたゞ漫然と生くるに過ぎないならば、それは生れて來なかつたのと餘り選ぶところが無い。た

とへ一日の生にも、人間としての生甲斐ある獨自の使命を果たし得るなら、醉生夢死の百歳にまさること千萬里であらう。

肉身の長壽は健康第一を念として、その以上は宿命に任せるの外はないが、まことの生命はその行持と精進考へられる。

### 水 明 句 抄

菱の花はつゝ、咲きぬ岸邊より  
敷紙の音する床に寝返りぬ  
敷紙に落ちたる蟲を拾ひけり  
菱の花濯げばゆれる一しきり  
敷紙にすゝしく朝餉すませけり  
すりこけし御濠の石や菱の花

山下 率 賓 子  
金 成 喜 山 郎  
金 成 上 鶴  
池の水にこれるまゝに菱咲きぬ  
戀すてゝ生くるときめぬ菱の花  
敷紙に灯明るき廣間かな  
敷紙に宿の人皆情濃し

金 成 磐 洲 子  
敷紙の敷きあまりたる襖闕  
敷紙をにぎいてありし枕かな  
ひしの花に露るゝ雨脚白きかな  
水皺の乗り來て震ふひしの花

## 吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

## 安齊外科醫院

平町田町 電話四七五番

**外科** X光線科  
**性病科**  
**外科**

入院隨意

お商用ニ  
タクシー電 五六九  
六三三  
ドライブニ  
イワキタクシー

内科 平町新川端(釜屋新宅向)  
醫學博士 難波 陸  
電話五〇二番


度量衡、計量器、吸入  
用酸素、酸素吸入器  
關内藥局  
電話四〇番

セメント 壁用材料  
コールタール 代理店  
ペンキ塗料  
板ガラス

磐城セメント株式會社  
西村屋藥舖  
平町二丁目 電話三

「の中心は!!!」  
ジャツにレビユウに國産愛用  
それから  
金光堂の時計  
時計、眼鏡、貴金屬類、蓄音機  
レコード  
其他修繕物大勉強

目下人氣  
目 丁 五 番  
一 九 五 番  
平 電 話



阿部石炭商店

ナールほど、是レハ良イ石炭ダ  
良イ石炭ダト云フ事ハ何時モ  
聞イテ居タガ!  
此レ程良イ石炭トハ  
思ハンカツタ  
品ガ良ク  
値ガ安ク  
經濟的ニハ正ニ  
百パーセントダ

モシク電話二三七番デスカ  
早ク一俵御届ケ下サイ  
平 停 車 場 前

◇配達ハ一俵ヨリ致シマス

# 政友派は平町から 井上茂作氏を推す

## 前回の雪辱戦の意味から 極力同氏の再起を促して

民政黨を標榜して平町から野崎、萩原兩氏が立候補すべし

形勢で ある爲め政友

會にても郡下三名の候補者中一名は平町に割當て是れに對抗すべき作戦である事は既記の如くにて新人を起用すべしとの聲高く關内正一氏最も呼聲盛んであつた爲め

幹部側 からも大いに

德通する處あつた模様であるが同氏は極力辭退すると共に平町に於ける同派の長老たる井上茂作氏を推して止まず井上氏は前回の選挙に於て僅の差に依り落選の悲運に遭遇したる關係上其

# 出揃ふ

## 多難の政友派

## 一兩日中には

石城の政友派にては既記の如く現縣議再選の意嚮であつたが鈴木氏は縣支部幹事長として今回の縣議戦に際し

苦戦の 立場に在る野

黨側の總元締たる重責あつ

# 街の天の使

## コンパクト時代

## 秋感じつゝ、抱く

## ひそかなる喜び

朝夕の風がひいやりとして秋を感じると、街のまどもあぜるは初めて化粧がしつくりとする——秋立つころの彼女らのそれはひそかなる喜びである

およそ、まの近代人はせめて二百種の香りと匂ひ

を嗅ぎわけ得る鋭敏な嗅覺神經を具備してゐなければならぬ、そして少くとも次の固有名詞位は常識の一としてゐなければならぬ

「レント」「クラブ」「ミソノ」「ビガン」「ドン」「シセード」「ウテナ」「マツサージ」「チャワ」

「匂ひ」の誘惑！ その盡感的跳躍の前に打ち克ち得るものはない——と聖オーガスチンでさへ懺悔録に

馬の意志なく居町小名濱全町の興望を擔つた小野晋平氏も

絶対に 固辭して受け

ない結果俄然候補難に陥つた觀あつたが平町からは井上茂作氏の出馬稍確定味を

# 野崎若松兩派の 暗闘益々激甚

## 同志相食む民政派 各候補決意未し

石城民政黨の野崎若松兩派の反目抗争は益々激甚となり今回の縣議候補者を擁立するに當つても

既記の如く野崎派が三縣議再選に決せるに對して若松派は野崎氏を除外し若松、萩原、赤津の三氏を擧げて

挑戦したが野崎氏の出馬は既定の事實であると共に萩原氏も既に準備成ると稱せられ

若松氏は 周囲の事情告白してゐるではないか、

英雄ナポレオンに至つては古今稀にみる白粉の愛好家であつたと傳へられてゐる

ひとり女王クレオパトラのみが白粉の妖しき偉大さを

知るものではない

近代の化粧法——それは蓋し技巧のかぎりを盡して

而も肌色の美を勇敢に發揮する淡彩畫的手法であらう

練白粉がアウト・オブ・デーの存在となつて世は華やかなるコンパクト時代——

帯びると共に一方田子健吉氏の公認運動あり郡南舊菊多方部も目下適任者

物色中の 模様であるから一兩日中には何れとも決定を見るに至るものと觀測さる

若松派の 豫選會延期

顔ぶれが揃はず

來る六日に

石城民政若松派にては本日午前十時から民政クラブに於て豫選會を開き縣議候補者を正式決定する筈の處別項記載の如く未だ夫々出馬の意志を定むるに至つて居ないので來る六日午前十時延期する事になつた

社民全勞・合同し  
大會にて候補決定

本部より三輪、阿部兩氏來援  
來る六日聚樂館で

中央政界における社會民衆黨と全國勞農黨の合同と共に兩黨石城支部においても先般來合同の機運にあつたが今回松本、高橋兩代表外幹部の協議により愈々合同することに決定し來る六日

午後六時より聚樂館にて合同大會を開き本部より總務部長三輪壽壯國際部長阿部茂夫兩氏が來援即日縣議戰對策の協議に入り候補者を決定するが松本清之丞氏有力と目されて居る

平商の舊講堂を  
平町の假廳舎に

本月下旬移轉工着手  
水道部前に移す

平町役場は舊商業學校の講堂を現在の水道部前庭に移し新廳舎完成迄不便は多いが一般の事務を執る事に決定した尙ほ同建物は來る

白水川の改修 内郷村磐城炭礦では同坑社宅の緩地内の白水川が汎濫し被害が甚大なので工費二千圓を投じ幅九間長さ六十八間のカーブ箇所を直線に改修すべくその筋に認可申請の手續きとることになつた

平窪衛生協議 石城郡平窪村役場では昨日衛生區長世世係を同村小學校に招集衛生デー及び染病の豫防等に就いて協議を行つた

石城瀧取引狀況

▽植田瀧市場(一日)  
(白瀧)一、三二貫(最高)  
(二瀧)九十錢(最低)二圓五十三錢(別)二圓六十六錢(黃瀧)七二貫(最高)  
二圓九十錢(最低)二圓五十三錢(別)二圓七十一錢

▽四倉瀧市場(二日)  
(白瀧)九三一貫(最高)三圓十二錢(最低)二圓五十七錢(別)二圓九十八錢  
黃瀧(最高)二圓八十六錢(最低)二圓二十錢(別)二圓七十錢

平町人事

△廣島縣農田郡北生口村大字林會社員香川英史(二八) 振盪小路五加茂下幸子(二二)

△東京北豐島郡三河島町二八五官吏河野岩三(二五) 南町三 青木キミ(二二)

△廣島縣農田郡北生口村大字林會社員香川英史(二八) 振盪小路五加茂下幸子(二二)

△東京北豐島郡三河島町二八五官吏河野岩三(二五) 南町三 青木キミ(二二)

### 二百十日當日の

## 稲作 現況 平年作

### 先づ以つて一安心

温度は例年より四度低い

本縣農事試験場神谷分場における昨二十日當日の本年度稲作成績

### 調査にの依ると

- △早生三種(草丈)三尺五寸九分(莖數)十一本半
- △中生三種(草丈)三尺六寸四分(莖數)十五本三
- △晩生三種(草丈)三尺四寸七分(莖數)十六本九

の現況にて此等三種の平均に依ると草丈は三尺五寸七分、莖數は十四本六となり、大体本年は大雨以來雨量少なく、炎天續きで温度高く、中晩生は分蘗したが早生は分蘗期を冷涼に過ぎた爲め、伸長分蘗共例年より不良であつたが大体

## 西瓜盗みの三名が

### 番人を袋叩き

### 泥棒々々と連呼されて

### 窮した揚句に此の暴行

石城郡豊間村字屋敷漁夫山崎喜一(三)及び、志賀安治(三)同村薄磯漁夫山川葉三郎(三)の三名は一日夜十一時頃同村字沼ノ内の箱崎久作方の西瓜畑を襲ひ込んだ所物音を聞きつけた久作が

飛出し大聲で泥棒々々と連呼したので三名は久作を取押へ額部腹部をめちゃくちゃに毆打し遂に氣絶せしめて引上げたのを其筋の知る處となり前記三名は直ちに檢舉平署へ押送さる

## 鯉節が 俄かに騰貴

### 製造手控への

### 漁業家地團大踏む

財界好轉を見越された譯でもあるまいが石城各濱の鯉節相場は昨今俄に高騰四ツ切本節で約三十五割、龜節三十割が何れも七八十割を唱へられるに至つたので鯉節製造を手控へた各濱の漁業家は今更ら地團大踏んで口惜しがつてゐる

## 平町出身の 満州兵を慰問

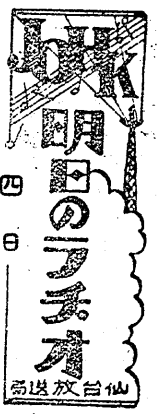
### 愛國婦人會平區が 一口五十錢宛募集

愛國婦人會平區では近頃町役場と共同にて目下滿洲に駐留中の第二十九聯隊平町出身者を慰問する爲め、全町内より一口五十錢宛の義捐金を募集することに決定し各委員は奔走中であるが締切は九月廿日であると

## 聖徳太子堂 入佛式執行

### 間町九品寺内に豫てより聖徳太子御尊像安置の御堂を建設すべく工事中であつたが此の程愈々興工が竣工したので

明四日に入佛式を行ふ事になつたが余興として境内に大橋を建て青年の盆踊等あり盛んに煙火を打揚げると



珠明のフマオ

今夜は北東の風曇り時々小雨明日は南東の風曇一時薄日もさす

## 今晚の部

- 後六、〇〇(子供の時間) お話「簡單な天体望遠鏡の作り方」中要
- 後六、三〇 夏期英語講座「中等、科第三講の五」増田綱
- 後七、三〇 講演「ラヂオ体操」日本放送協會関東支部 常務理事 中山龍次
- 後八、〇〇 義太夫「義経

熟睡中前借二百五十圓を踏倒して逃げたか逃走したので本日平署へ取押方を願出た

## 剃刀で友を斬る

### 酒の上の口論から

石城郡好間村字元山居住小田炭坑々夫佐久間義吉(三)は一日午後九時頃自宅で飲酒中訪ねて来た同村字町田魚行商木下平太郎(五)と些細の事から口論となり佐久間は突然剃刀を持出し木下の左手を切り付け悲鳴を聞いて駆けつけた隣家の白田朝藏(三)をも切付け様うと暴れるのを漸く取押日本平署に檢舉さる

## 怪しい

### 出稼人の行方

### 目星がついた二人組盗賊

昨日夜明け前に平町長橋町の五軒の家を襲つた二人組らしい賊のあつた事は昨報の如くであるが同夜尻子亭縣から農事出稼人であると

## 何が彼女達を 尻込みさせるか

平職業紹介所ではこの不景氣にも拘らず女中さんの求人、求職のバランスをとることになつた

- 前九、一〇 料理献立「チキンアラホルトゲーズ」朝倉長吉
- 前一〇、三〇 夏期講習「家庭用マッサーヂ」(三)小川源助
- 後〇、〇〇 掛合斬「彌次喜多芝居釣り」海老一海老藏一派
- 後二、〇〇 健康講座
- 後六、〇〇(子供の時間) 吹奏樂「序曲タンクレディ」夢のおもちゃ箱「西班牙の闘牛」巴里の屋根の下「玩具の兵隊」コチロン「豊島少年音楽隊指揮 久松鏡太郎
- 後六、三〇 夏期英語講座「初等科(十八)武井亮吉
- 後七、三〇 聯珠講座「聯珠上達法」(第一講)七段高須吾秀
- 後八、〇〇 室内樂「絃樂四重奏」グアイオリン末吉雄二 桂平太 ヨイオラ大塚淳 チェロ中島方津繪「相馬馬子唄」磯臺大津繪「相馬馬子唄」磯臺大津繪「草取囃子」尾形旭打唄「草取囃子」尾形旭永 田村もと 佐久間秀瀧 伊藤その 三升いと江差わか 小野津水 龍田眞浪 關内眞鳳 大里萬藏 高橋勇吉
- 後九、〇〇 常磐津「忍夜戀曲者」(將門)常磐津松尾太夫外

怪しと睨み行方を厳探中であるが分今日迄には逮捕の見込みであると

ないので、お女中さんやわつてるが何が彼女達を尻込みさせてゐるかについて調査の結果

「まあ政や、七輪のお火がいらなくなつたら消しておくとよ、ガスだつてそうだら、濟んだら栓を堅くしめるんだよ、ホラ新聞にも出てるでしょ、それに序だから言つときますがネ、お野菜だつてお魚だつて買ふ時は三軒も四軒も聞いてみて一番安い所から買ふものよ、いゝかえ」

斯うした口やかましいのが最大原因をなしてゐることを發見、先づ求人申込み者の家庭から調査して求人、求職のバランスをとることになつた

小説

# 七五短

(二十六)

渡邊 默禪 作  
布施 平八郎 畫

【載轉禁】

俠妓歌治 (12)

と満州狐のやうな目を織くしつ、皮肉に笑つた。歌治は、こりとして

『まだ劫が残つてると見えね、お客にいちめられ通しなのよ、今日もお蔭さまで拳固頂戴のおでこと改名よ。有難くできてるわ、オホ、ハ、ハ。』

『未だ豊川さまの信心が足りない故かな。でもそれだけ稼いだら今に歌治銀行が立つだらう。些とこつちの方へも廻して呉れないか、利息は精々奮發するがな。』

『ふん、廻してあげたいけど、そこいらのお株を横奪して怨まれるのが厭だから、まア今度は止しませうよ。』

『アハ、ハ、馬鹿に堅いなア。』  
『いえ、見かけばかりよ心はずつと柔かいの、だから苦勞が絶えないんだわ。』  
『のろけか。恐れ入つた。』  
『久し振で献さう。』  
『ハイ、戴くわ。』  
その時、にや／＼笑ひの薄氣味悪い目色をして、黙つて二人の話を聞いてゐたに早乙女が、飲残しの黒麥酒を盞ごと倒さにつぶりと盃洗のなかに沈めて、

『さ、こつちからもいかう』と歌治に献した。  
『狭み撃、ちよいと、恐縮だはね。』  
直とその盞をとつて早乙女の注ぐにまかせた。植野老人はこの様子をしよう／＼と目目で眺めながら、古つ



ぼけた菖蒲草の煙草を入を膝へのせて、脂で眞黒になつた銀煙管の火皿へおやめの粉をすくひ込んでゐた。  
『歌治、時にあの人は何をどうしたの？』  
早乙女が言つた。  
『あの人ッて、誰れ？』  
『とほけるなよ、あの入だ

り寄越して戴けないこと、ちよいと、』  
『如何するんだ。』  
『いろは別の帳簿を捲へて戴くわ、成らうことなら通帳にして一々出入を記入するやうなことにね、それとも電話の度數割のやうなことにしようかしら。』

『アハ、ハ、こいつ客を食つてる冗談は借置いて源ちゃんに此頃逢はないかどうだ。』  
『いえ、些とも。すつかり見限られつちやつたのよ腕が無過ぎるぢやないか、それで失戀の結果煩悶か、古いなア、おい。』  
『失戀なら贅澤だが七輪の友なんだから忌になつちまうわ。』

一冊の代金で御希望通りな

五冊の雑誌が自由に讀める

川崎巡 回文庫

電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院

平町南町 電話一七〇

市原醫院

平町田町 電話一一四番

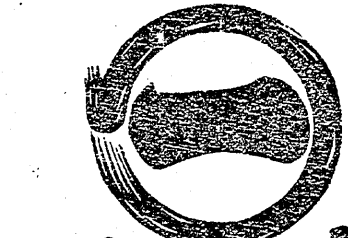
融金替爲・債公・券債

## 店質井田多

町工大町平 番一九五話電

■産名城磐■

# 出賣節録



## 魚問屋

△配達敏速▽  
最優最大日本生命平代理店  
志賀盛榮  
平四丁目電二二三番

### 名篇壊けゆく珠

- 相澤 鈴木傳明
- 和子 川崎弘七
- 忠男 島田嘉七
- 義男 月田一郎
- 青山 新井美津
- 淑子 光喜美枝
- 洋子 伊達里枝
- 時子 伊達里枝
- 其他 總動員

錢○二金料

畫名竹松活日

館平

り替日三月九

喜彌次 喜多 月形プロ大作品  
監督 木村富之助  
市川右太夫 大伴 古河卓二  
市川右太夫 大江美智子

上田外科醫院  
平町南町 電話二一九番

三井の商切品手  
平三電 三八番

時計眼鏡  
トキワヤ  
平一電三三九